

津幡の空から

石川県学校生活協同組合

2018・1月号

石川県学校生活協黒字化3か年計画の2年目

「2018年 新年あけまして、おめでとうございます！ 本年も、ご愛顧よろしくお願い致します。」

石川県学校生活協同組合の理事長に就任して2年目の正月です。今年は、黒字化計画の3年目、ホップ・ステップ・ジャンプの最後の年です。だから、すごい緊張感を持って新年を迎えています。しかし、まだ正式には発表できませんが、黒字化への道筋が少し見えてきました。このまますんなりと決まってほしいなと本心から願っています。

人に何かを「させる」のではなく、「して頂く」と言うことは本当に大変なことだと思います。自分でできるのであれば、すぐにでもできるのですが、他人にさせていただくことの大変さを理事長になって、改めて感じています。でも、そうしなければ、今の石川県学校生活協は黒字になりません。昨年は、新たに「企画本部」を立ち上げ、今までの取り組みを見直し、検討し、新たな取り組みを作り、新しい学校生活協を打ち出してきました。

今年も、検討し、改革し、計画し、実行し続けます。利用高割戻が再度できる恒常的な体制を構築するのが、私の使命だと考えています。

組合員のみなさん、学校生活協をもっと利用してください。利用できない理由を私たちに伝えてください。出来るように改善します。

本年も、ご利用よろしくお願いいたします。



2017年度 12月末 1,575万円の赤字です、計画目標より158万円悪化。

石川県学校生活協の2017年度12月末現在の経常剰余金は▲1,575万円です。計画目標は▲1,417万円でしたから158万円悪化しています。2016年度12月末は▲1,390万円でしたから、それよりも185万円の悪化です。2017年度の年間目標は▲880万円です。今は、この目標達成に向けて努力をしていますが、大きな危険信号が灯っています。2月、3月の業績次第ですが、本当にご協力お願いします。

現在、春の全員利用運動の取り組みの真っ最中です。皆さんにお勧めの商品を揃えています。1品といわず、2品、3品のご購入をお願いいたします。

石川県学校生活協同組合は、県内の教職員を対象とした職域生協です。学校という職場の中で教職員の生活を共同で守り向上させることを目的に結集した福利厚生組織であり、石川県の教職員の自主福祉活動や消費者運動の拠点になっています。

《学校生活協と私》 大浦小 白尾光恵

私がはじめて学校生活協で購入した物は、「ごほうびスタンプ」でした。スタンプが届いた時、とてもうれしかったことを今でも覚えています。そのスタンプは、今も大切に使っています。学校生活協のチラシには、文房具や教育書も多数掲載されていて、文房具好きの私には、チラシを見る時間は、お目当ての物に出会う宝探しのような時間になっています。

また、最近では全員利用運動が、私にとってもっとした楽しみになっています。この時ばかりは、買ったことのない商品を試しに買ってみよう、家族の喜ぶ顔を思い出しながら注文しています。

今年度は理事になり、全員利用運動の商品を試し食させていただくことがありました。こんなおいしい商品があるなんて知らなかった！ぜひ、みなさんにもオススメしたい！というものがたくさんありました。さっそく注文したら、家族にも好評でした。実家にもおすそ分けしたら、これまた大好評でした。

学校生活協には、ワクワクするものがいっぱいあります。これからも利用を続けてお気に入りを見つけに行きたいと思っています。

編集後記 仏壇のない家は動物小屋だ！

昨年の12月に我が家に仏壇が入りました。宗教の話になるので、気になる方は読まないでください。私の実家は浄土真宗大谷派の門徒です。ですから、生まれた時から家には仏壇があり、私が中学生のころ、親父は新しく大きな仏壇を購入し、一年に一度はその仏壇を楽しそうにきれいに磨いていました。

しかし、我が家には、結婚後38年間、仏壇はありませんでした。そして、去年の9月住んでいる加賀市南郷町のお寺に新しい住職さんが入られました。その1回目の講話の時、その方は「仏壇のない家は、動物小屋と同じだ」と言われました。その瞬間、急に「仏壇を入れよう」と思ったのです。今までいろいろな方が同様のことを言われていたのに、出会いと年齢の所為だろうと思います。もともと、学校生活協の指定店の米永仏壇から買いました。これで我が家も「家屋」になったようです。

(ほその)